

【背景】

NPO世田谷桜丘まちづくりの活動目的の一つに、文化の薫り高いまちづくりがあります。以前からまちづくりコンサートや子どもたちに絵手紙の指導をするなど、地域の文化向上には努めてきましたが、平成23年に私たちが暮らす“まち”がどのように変わってきたかを多くの方に見ていただくため、古くからの地域の写真を集めて、写真展を催す企画を立ち上げました。さらにその先に、桜丘の歴史や風物をまとめた冊子につなげることも目指してのことでした。

地域の歴史をまとめた冊子は区や市のレベルでは役所が作成して刊行されています。ところが、まちの単位での歴史冊子はほとんど発行されていません。

多くの住民が関心を持って見ていただくことを期待して「桜丘歴史写真館」の資料集めを開始しました。

【検討】

写真を集めるにあたっては、一つは地域住民の方が保存している昭和時代を中心とした写真をどう提供してもらうか、そしてもう一つは団体が所有している古い写真をどう集めるかということでした。そのため地域の住民への呼びかけとしては、「歴史や風土を写した写真提供のお願い」のチラシを作って、町会の回覧や掲示板に貼ることでした。合わせて、桜丘と周辺を対象に、新聞の折り込みチラシを配布することにしました。一方、団体への呼びかけとしては、世田谷区立郷土資料館・小田急電鉄・小中学校・公園など古い写真を所持している先を個別に訪問して、写真の提供をお願いすることにしました。

【結果】

残念ながら、集める対象時期の昭和初期から30年代までの写真はもっぱら家族での祝い事や肖像写真が多く、目的とする風景や歴史を語る写真はほとんど集まりませんでした。その中で、2~3人の写真愛好家の方から提供していただいた写真には

現千歳通りが昭和20年代、旧品川用水の名残であった水たまりでザリガニを採る写真や、宇山神社での雨乞いの儀式など貴重なものがありました。また、地域団体からも多くの写真を提供いただきました。小田急電鉄からは古い駅舎の写真、世田谷区立郷土資料館からは桜丘の古い農家の写真、砧公園がゴルフ場であった頃の写真などをお借りしました。馬事公苑を写した写真の中には東条英機元帥の乗馬姿などもありました。それぞれ写真を歴史写真館の展示に使うことのできることを得て展示の準備を進めていきました。そして、平成24年11月の桜丘区民センターまつりで初めて40枚ほどの写真を展示し、また、年代ごとの航空写真でのまちの移り変わりなどが分かる写真もいくつか並べて、多くの方に大変興味深く見ていただきました。その後毎年、桜丘区民センターまつりと、春の桜まつりに合わせて桜樹広場でも展示しています。その後、写真の数はさほど増えていませんが、ぜひ古い写真をお持ちの方がおられましたら提供をお願いします。



▲写真を募るチラシ



▲展示会の様子

【背景】

会員の野元邦彦さんから、「東日本大震災の災害後に開設されたFM放送が、被災者への情報提供ツールとして有効である」という話がありました。災害時の放送もさることながら、「日常のまちづくり活動をFMラジオで紹介できるのではないか」という話がありました。それまでは、まちづくり活動はニュースという形で発行しておりました。放送の方がまちづくりニュースの発行よりタイムリーに情報提供できるということもあり、FM放送開設に向けて検討しようということになりました。

【検討】

ラジオ放送に関しては、NHK放送技術研究所(世田谷区砧)に勤められていた木村悦郎さんが会員であったこともあり、FM放送の使用できる周波数や管理の問題などについても教えてもらいました。電波管理の問題もあり、通常放送されているようなFM放送が難しいことや500mの範囲が対象など、様々な制約があることもわかりました。それでも、「取り組んでみよう」ということになり、機材の購入費などは、世田谷区の「地域の絆連携活性化事業」の助成金を受けることとしました。

【結果】

システム構築やデータのインプットは野元さんが行いました。高い場所へのアンテナの設置もあることから、隣接建物にお願いして会員の峰一雄さんの協力で設置しました。試行錯誤の結果、平成25年(2013年)FM桜丘(880MHz)で開局の運びとなりました。

放送開始しましたが、周囲の建物などが障害となって受信できる範囲が意外と狭いこともわかりました。そこで、受信エリアを拡大するためには、サテライトスタジオを設置しなければならないこともわかり、地域の学校や公共施設にサテライトの開設をお願いすることとしました。桜丘中学校の西郷孝彦校長先生は、子どもたちの教育にも役に立つとい

うことで積極的に設置に協力していただきました。また、桜丘の南側をカバーするために、区の施設である「すみれ場自然庭園」にもお願いしました。

区民センター祭りでは、センターに設けた臨時のスタジオから放送しました。外から放送中の模様を見ることができ、センター内のラジオに放送が流れるので実態をよく理解していただくことができました。また、来賓の方や来場者のインタビューも放送されて、情報伝達的手段として有効であることが認識されました。今後は4か所の放送設備をネットワークでつなぎ、地域の様々なイベントのお知らせや、商店街でのお買い得情報など、あるいは災害時の情報伝達的手段として活用が期待されています。

NPO世田谷桜丘まちづくり

FM桜丘

88.0MHz

みんなと繋がる
あんなに聴ける情報局!

皆様こんにちは!
地域の様々な情報をお届けするミニFM局「FM桜丘」です。
NPO世田谷まちづくり基地内より、地域で役立つ情報から思わず笑顔がこぼれてしまう面白いお話しまで放送していきたいと思っています!

主な放送内容

- ☆多暮らしの中で役立つ情報では…
⇒例えば「世田谷小学校のどんと焼きで、お正月の門松を飾ってください」などの、日程をお知らせします。!
- ☆日常生活に役立つ情報では…
⇒商店街のタイムセールやイベント情報などのお買い得情報
⇒防災・災害の安全確認の情報
⇒地域の団体、学校、区民センター、図書館、児童館等のイベント情報、桜まちづくりのイベント情報
⇒地域で活動しているサークルやグループの活動内容の紹介
⇒フロンパトロール隊からのお知らせ
⇒視聴者からの音楽・感想等のリクエスト受付
⇒視聴者の方々の様々なご意見
⇒提携放送局である青森放送局の番組中で面白く役に立つものを放送

※放送局の見学をされたい方は、ご自由にNPO本部までお越し下さい。
11月11日(木)・12日(日)には区民センター裏りで公開放送を行います。

NPO 世田谷桜丘まちづくり
TEL : 03-3427-4181
世田谷区桜丘 2-20-10 2F (1Fはファミリーマート)

▲FM桜丘の告知用チラシ



▲開始当初の放送設備

【背景】

桜丘歴史写真館で地域の住民や各団体から写真を集める段階から、それらの写真を活用して、ふるさと桜丘の歴史冊子を作るという方向を考えていました。この一冊で歴史や風土、交通機関の変遷などすべてが判ることを主眼に編纂しようという意図も固まっています。このような冊子ができれば古くからこの地に住む人にとっても、また新たに転入された方々にとっても、町のレベルでの歴史・風土を語る冊子が貴重な資料になることは請け合いです。

その後、掲載する内容の編集について、関係者で打ち合わせを重ねて、世田谷区からの助成金を受けることで資金的な面もクリアすることができました。

【検討】

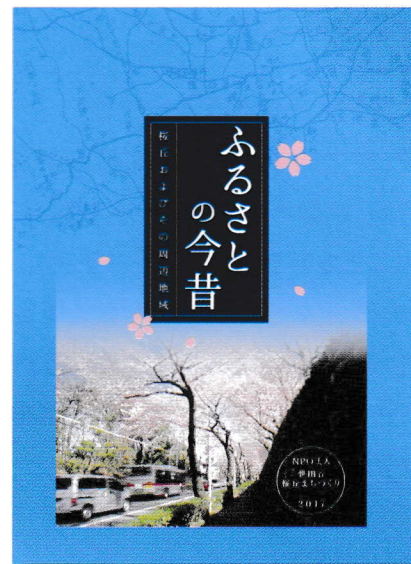
当初から編集作業と製本に当たって、専門業者のアドバイスを得ながら進めていくことにして、まず1年目は地域の昔を知る長老へのインタビューや文献・古地図を集めること、郷土史に深い関心を持つ方からの話を聞くことなどからスタートしました。また、地域で様々な団体に属してまちを豊かにしてきた代表者に集まってもらっての座談会も開催して、次第に記事の内容を豊富にする目途が立ってきたのです。平成28年3月にはそれらをまとめた試作本としてとりあえず100部ほど印刷し、関係者に見てもらい意見を聞きました。そのようなステップを踏んで2年目の編集に取り掛かりました。

【結果】

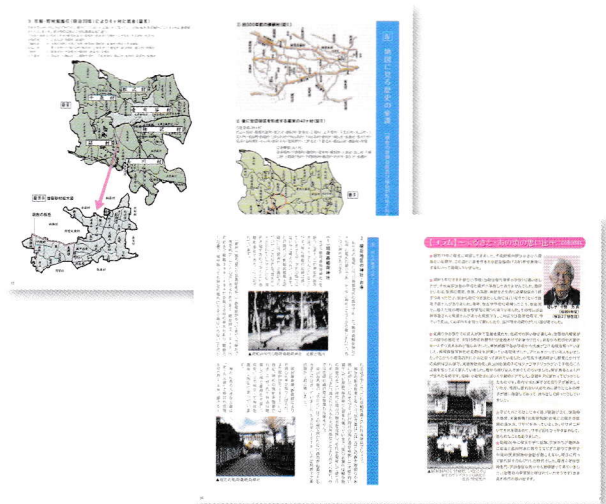
完成までに2年を要しましたが、世田谷区の歴史から始まり、今日に至る流れをベースにして、交通機関の発達、歴史・学校の変遷・風習や方言・地図で見るまちの変化など歴史的な部分と、地域の商店街や企業・諸団体の発展、地元での野菜作り農家の分布・地形の特徴などを織り込んだ総合的な地誌が完成したのです。チラシを作成して本の紹介を兼ねてPRし、区民センターや図書館、地元の商店にも実物を置いてもらった結果、1年間でおよそ

1500冊を皆様に読んでいただくことができました。桜丘1丁目町会では町会の記念事業として、会員全世帯に配布していただきました。残念ながら助成金の範囲では収まらずに、一部は読者に寄付という形で一冊300円の負担をお願いしました。

いまだにホームページや図書館で見たとあって、本を求めに来る方が後を絶たず、桜丘の隠れたベストセラーになっています。内容についても極めて好評で、編纂に当たったの努力が結果につながることになりました。



▲完成した「ふるさとの今昔」表紙



▲地名の由来や、区分の変遷、長年お住まいの方のインタビューその他にも文化風習、統計資料等盛りだくさんの内容

今後のまちづくり活動について

伊藤 和彦

本誌に克明に記されているとおり、平成の時代と時を同じくしての30年間、まちづくり協議会から始まってNPO法人化の流れの中で、様々な活動が行われてきました。商店街の美観や利便性を確保すること、集合住宅や一般住宅の建て替えに当たっての住環境を確保することなどに加えて、老人や子供にやさしいまちづくり、環境にやさしいまちづくり、安全なまちづくり、文化の薫り高いまちづくり、情報豊かなまちづくりといった活動がこの地の発展にそれなりの役割を果たしてきたことは、本誌において十分ご理解いただくことができると思います。これからも自然豊かな地域の特性を保持するために、街並みの美観や安全性を損なうような土地開発や建築に、厳しい目をもって対応していくことは、私たちNPOの活動に課せられた、大切な課題であることは変わりありません。更に今後のまちづくりを進めるにあたって重要なことは、地域でまちづくり活動を行っている団体との連携を保ち、それぞれの団体の絆としての役割を私たちのNPOが担っていくことにあると思います。すでに桜丘町会はじめ近隣の各町会とは桜まつりのように合同で開催するイベントがあります。また参商会商店街とも、協賛して行っている行事がいくつかあり、そもそもNPO設立に当たっては参商会の空き店舗を利用するという大いに支援していただいています。FM放送を活用した商店街の活性化なども実現可能なテーマのひとつです。桜丘区民センターの運営協議会とはコンサートの開催に協同で当たっています。このような地域の団体との協働作業により、より充実したまちづくりが可能になります。そのかなめに私たちが存在することが今後の大きな目標です。そのためには、ボランティアの活動に積極的に参加していただく会員を増やすことが急務であり、ぜひとも実現していかなければなりません。会社勤めを終えたら、地域に戻って地元の発展のお手伝いをする、住民が自ら参加して結果を全員が享受する、そのようなまちづくり活動ができるようになれば桜丘の将来は安泰です。自然豊かなこの地をいつまでも住みやすいまち・住みたいまちにするために。

編集後記

小野富雄

まちづくり活動は、往々にして結果のみで判断されることが多く、単に建物づくり、道づくりといった形を作る活動(ハード面の活動)と勘違いされることが多いようです。そのような誤解を解消するために、『まちづくり活動の歩み』をまとめることとしました。したがって【背景】【検討】【結果】という形でまとめてあります。読み進んでいただければ、当初からの桜丘まちづくり協議会の憲章の中に謳われている通り『まちづくりは人づくりから』というソフト活動の結果が、「都営住宅」や「城山通りの歩道」、「駅舎や駅前広場」という形となって現れ、祭りや音楽会、様々なイベントの場となり、人の輪作り『住民の絆づくりの場』になっていることは、まちづくりセミナーで牟田悌三さんがテーマとして講演してくださった『次代につなげるまちづくり』を目標に活動を続けてきた成果だと思っています。ただ、街は生きていますので、ちょっと手を抜くと荒れ果

ててしまいます。まちづくりとは、『自分たちの住む街を、愛情をもって育てていく』ことです。歴史的にも、地元の人に愛着のあるまちは、魅力のあるまちとなります。農地の緑で満たされていた桜丘の街も、30年を経て大きく様変わりしようとしています。新しく桜丘を故郷とする子供たちも増えています。その子たちが、さらに次の世代に誇れるまちづくりに貢献してくれることを期待したいと思います。

また、桜丘まちづくり音楽会は、世界的で活躍している音楽家が出演していただいております。嶽道さんのコメントにもありますように、世界でも例をみない音楽会ということです。『音楽は世界の共通言語』というサブテーマで、企画しているコンサートが桜丘の地域を超えて世界との絆づくりに発展しています。音楽の街としての桜丘が街の魅力づくりなると信じています。

『人がまちをつくり』そして『まちが人をつくる』。このことを忘れずに、NPO世田谷桜丘まちづくりが、街や人の絆づくりに役立てばと思います。



桜丘まちづくり活動の歩み年表



年	まちづくり活動主な計画・事業	社会の出来事
平成元年 (1989年)	「街なみ整備促進事業」の活用をはかる地区 桜丘2丁目西地区まちづくり懇談会開催 まちづくり準備会の発足 街なみまちづくりニュースの発行	・平成に改元 ・消費税3% ・ベルリンの壁壊される
平成2年 (1990年)	桜丘2丁目西地区まちづくり協議会発足 都営住宅北西角にまちづくり掲示板設置 都営住宅北東角に空き缶回収BOXの設置 住宅地と商店街に対して、それぞれ懇談会開催	・株価の暴落 ・東西ドイツ統一
平成3年 (1991年)	桜丘まちづくり計画の策定 第1回桜丘まちづくり祭り開催 都営住宅の建て替え計画案づくり	・湾岸戦争勃発 ・ソ連崩壊 ・バブル経済崩壊
平成4年 (1992年)	東京都住宅供給公社隣「桜広場」計画案づくり 桜丘二丁目18番街区まちづくり協定締結 地域まちづくり活動団体との列警事業 (千歳通りの玉石垣について) 国際センターとの協定締結 (2階に駐輪場設置、店舗前に駐輪しない)	・PKO協力法案
		
平成5年 (1993年)	桜樹広場計画案づくり まちづくりセミナー 「次代につなげるまちづくり」俳優 牟田悌三 「このままでは商店街は崩壊する」菅原一孝	・佐川急便事件 ・Jリーグ開幕 ・細川連立政権
平成6年 (1994年)	桜樹広場管理協定締結 桜丘区民センター祭り参加 消防団第16分団格納庫計画案づくり	・村山内閣

桜丘まちづくり活動の歩み年表

年	まちづくり活動主な計画・事業	社会の出来事
平成7年 (1995年)	まちづくりセミナー 「阪神大震災に学ぶ」原昭夫世田谷区部長 第1回防災イベント開催 千歳船橋まちづくり祭りの企画応援 (現在の「ちとふなまつり」のきっかけとなる)	・阪神淡路大震災発生 ・地下鉄サリン事件
平成8年 (1996年)	桜丘小学校児童との意見交換会開催 まちづくりバザー開催 まちづくり協定エリア拡大	・橋本竜太郎内閣
平成9年 (1997年)	桜丘まちづくり音楽祭開催 千歳船橋駅舎計画案づくり 桜丘まちづくり憲章の策定	・消費税5%
平成10年 (1998年)	まちづくりセミナー 「まちづくりはじめの一步」延藤安弘千葉大教授 まちづくり協定エリアの拡大 千歳船橋駅前広場計画案づくり 千歳船橋駅周辺計画案づくり (城山通りの歩道拡幅計画も含まれる) 放置自転車の整理活動 マリimbaとリズムコンサート(田村優輝子)	・長野オリンピック開幕 ・小渕恵三内閣
平成11年 (1999年)	民間駐輪場の開設 (会員である潮田健二氏が駐輪場を整備) フルートコンサート開催(藤井香織) ゴールデンホルンコンサート開催	・東海村JOC臨界事故
平成12年 (2000年)	第1回ウォーキングラリー開催 フルートコンサート(トロント交響楽団奏者) フルートデュオ(ダヴィデフォルミサーノ)	・森喜朗内閣 ・三宅島噴火
平成13年 (2001年)	すみれ場自然庭園計画案づくりに参加 ミラノスカラ座「グリーンカアンサンブル」 ピアノコンサート(丸山和範)	・小泉純一郎内閣 ・アメリカ同時多発テロ



桜丘まちづくり活動の歩み年表



年	まちづくり活動主な計画・事業	社会の出来事
平成14年 (2002年)	第1回ベルリンフィル・トリオコンサート ミラノスカラ座共演コンサート	・日朝平壤宣言
平成15年 (2003年)	桜丘地区まちづくり計画案づくり	
平成16年 (2004年)	わんわんパトロール開始 (犬の散歩をしながら、防犯活動を行う) 不法看板撤去運動開始 (立て看板や電柱のチラシを撤去する美化運動) 第2回ベルリンフィル・トリオコンサート 日本の伝統音楽とアイルランド伝統音楽	
平成17年 (2005年)	桜丘地区の道路の名称募集 フルート・デュオ ピアノコンサート	・JR福知山線脱線事故 ・愛知万博開催
平成18年 (2006年)	桜丘コミュニティサロン開設 商店街活性化事業(七夕飾り、ハロウィン) リサイクル事業開始 (古着の回収、リサイクルコーナー開設)	・安倍晋三内閣
平成19年 (2007年)	社会貢献事業(ペットボトルキャップの回収、寄付) 商店街主催「納涼盆踊り大会」協力 商店街街路灯放送の協力 「助け合い隊」の活動開始 ペナントギャラリー開始(商店街街路灯装飾) 「レディ・ジニー・ゴールウェイ & FRIENDS」 丸山和範とピアノコンサート	
平成20年 (2008年)	「お菓子の森」の開設(駄菓子コーナー) (次代を担う子どもたちとの交流が目的)	・リーマンショック ・麻生太郎内閣
平成21年 (2009年)	ハロウィン開催(児童館との共催) 古典楽器と声楽コンサート	・鳩山由紀夫内閣

桜丘まちづくり活動の歩み年表

年	まちづくり活動主な計画・事業	社会の出来事
平成22年 (2010年)	東京都の助成事業 ホームページの開設運営 JAZZ Live オペラ「魔的」	・菅直人内閣
平成23年 (2011年)	東日本大震災応援チャリティコンサート 第3回ベルリンフィル・トリオ「東日本チャリティ」 オペラ「くるみ割り人形」	・東日本大震災発生 ・野田佳彦内閣
平成24年 (2012年)	桜丘歴史写真館の開設 フルート&ピアノ(ダヴィデ・フォルミサーノ)	・東京スカイツリー開業 ・第二次安倍内閣
平成25年 (2013年)	クリスマスコンサート「ひとつの願い」 第4回ベルリンフィル・トリオ	
平成26年 (2014年)	「FM桜丘」の開設	・消費税8%
平成27年 (2015年)	「珠玉の饗宴」ダヴィデ・フォルミサーノ	・慰安婦問題日韓合意
平成28年 (2016年)	「竹ノオト」コンサート 第5回ベルリンフィル・トリオ「熊本復興応援」 「FM桜丘」区民センター祭りで放送	・熊本地震発生
平成29年 (2017年)	「ふるさとの今昔」発行 第6回ベルリンフィル・トリオ 「FM桜丘」桜丘中学校スタジオ開設	
平成30年 (2018年)	新着ピアノお披露目コンサート 「室井滋 絵本&音楽&トークショー」	

※全てのコンサートのピアノ演奏はフィリップ・モル氏です。

ソプラノ歌手の嶽道優子さんには解説や歌をお願いしています。

まちづくり活動に協力していただいた人たち(敬称略・順不同)

新川複吉、川端富蔵、黒田猛、中島巖、土屋団蔵、直井芳夫、木村悦郎、上原丈吉、
松島喬、松本康之助、市川修、二口操、松野チカ、荒井芳夫、峯一郎、戸石重利、
佐々木嵩、津藤千鶴子、渋谷徳二、太田十郎、曾根平、飯沼楊子、飯沼一元、野田武、太田登、風間康利、
島田輝彦、鈴木朝司、山下寿、熊谷典子、三原種洋、武末昌子、星野伸、千名原敏男、増永義幸、
近藤清子、川島正子、野田武志、松本三喜子、松原道綱、有本亨、大下祥子、吉岡道子、工藤弉子、
増田和子、廣田陽一、星野知子、高山進、木下節子、宮沢勝昭、保田弥寿彦、長谷康夫、
安田正勝、丸山あきら、後藤浩孝、加藤充子、梶野誠司、石井照子、大島和気子、高成田恵、野呂加寿子、
久保田静廣、小泉準司、坂田正道、桜井恵子、佐藤恵三、谷正幸、田中章恵、峯一雄、谷井正雄、
榊原泰、伊藤和彦、野呂加寿子、篠田まさ子、徳原文雄、福江絢子、田代きよ子、中沢節子、
野城智也、岡庭茂行、植松透、植松葉子、有福まゆこ、菅原進、清水太郎、野元邦彦、
原田達夫、潮田健二、白杵玄成、三瓶尚子、田中寛、土谷英子、小野糸井、寺田一、木村久彌、岩瀬美智代、
瀬山正雄、塩入楨子、津藤寛、藤井悦子、森亨、設楽淳子、今田登紀子、三原ひろみ、高橋宏、
野上操、楠原素子、大貫金太郎、大木重永、安藤範雄、依田みのり、宮永恵美子、
三橋謹治、山崎悦子、岩田孝子、鹿庭正昭、岩瀬はるみ、大山八千代、杉田茂、利根川浩行、
高垣由理子、築野君江、浅枝芳隆、今枝関夫、川口智恵子、倉沢涼子、児玉佐知子、長崎三季、
中野蒔子、中村宏子、根岸タカ、廣田和子、南貞代、加藤栄子、岩崎澄子、
嶽道優子、フィリップ・モル、丸山和範、丸山知子

協力団体・企業

桜丘町会、桜丘南町会、桜丘一丁目町会、千歳船橋参商会商店街振興組合、
桜丘区民センター運営協議会、稲荷森稲荷神社、千歳船橋商店街振興組合、
千歳船橋駅北側まちづくり協議会、世田谷消防団第16分団、
グループけやき、世田谷土建組合けやき分会、ぐるうぶ街、桜丘児童館、桜丘小学校、笹原小学校、
桜丘中学校、桜丘幼稚園、桜丘南保育園、桜丘保育園、経堂保育園、和光小学校、
鷗友学園、東京農業大学、国士館大学、伊藤内科胃腸科、こしだ内科クリニック、
蔵吉家、ミサワホーム(株)世田谷支店、世田谷信用金庫船橋支店、水道機工
A.A.P(株)、美容室ビューロード、(株)メモリード東京

まちづくり活動運営にご支援頂いた世田谷区職員の方々(敬称略・順不同)

原昭夫、堀恵子、真野源吾、石毛淳、佐藤洋、海津、関野、野村、関根、竹本、会沢、大橋、内田博愛、
大橋、河野、松村、青柳、深山、北川、工藤、山戸、大平、桐山、日向野、伊藤、鹿子

(上記記載の個人、団体以外にも多くの方々にご協力いただきました。名簿記載漏れの方には、申し訳ありません。)



桜丘まちづくり活動の歩み ―まちづくりは人づくりから―
「地域の絆づくりへの試み」

発行日 2019年3月31日

発行者 特定非営利活動法人 世田谷桜丘まちづくり

〒156-0054 東京都世田谷区桜丘2-19-12

プライマリー千歳1F

TEL/FAX 03-3427-4181

E-Mail npo.sakuragaoka@diary.ocn.ne.jp

本書は世田谷区の「地域の絆連携活性化補助金」により作成しました。